



2024年9月30日

## 常盤工業株式会社との

### サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、脱炭素化社会実現に向けた取り組みの一環として常盤工業株式会社（代表取締役 山内 寛明）と、「ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下、ぎふしん SLL）<sup>※1</sup>」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

ぎふしん SLL は、達成すべき目標を二酸化炭素（CO2）排出量の削減に限定し、脱炭素化に取り組む地域企業を資金調達面と脱炭素化に向けたアドバイス・サポート面で支援するものです。

岐阜信用金庫は、地域金融機関としての責任を果たしつつ、地域のお客さまとともに脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

#### 記

#### 【契約内容】

実行日	2024年9月30日
融資金額	200百万円
期間	10年
資金使途	事業資金

#### 【企業概要】

企業名	常盤工業株式会社
所在地	岐阜県各務原市金属団地 58 番地
代表者	山内 寛明
事業内容	各種産業用機械製造業
資本金	4,500 万円
設立	1948 年 6 月 10 日

以上

### ※1 ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン

本商品は、サステナビリティ・リンク・ローン原則<sup>※2</sup>等に基づき、脱炭素（カーボンニュートラル）に特化したローン商品であり、地域事業者の脱炭素経営のすそ野を広げ、お客さまと共に脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指します。

なお、地域の中小企業においては、自社の脱炭素の取り組みについて各種認証の取得や第三者の客観的な評価を得ることへの負担が大きいという課題があることから、岐阜信用金庫では、お客様の CO2 排出量の測定やレポートを低負担で行える「サステナビリティ・リンク・ローン」のフレームワークを開発しております。

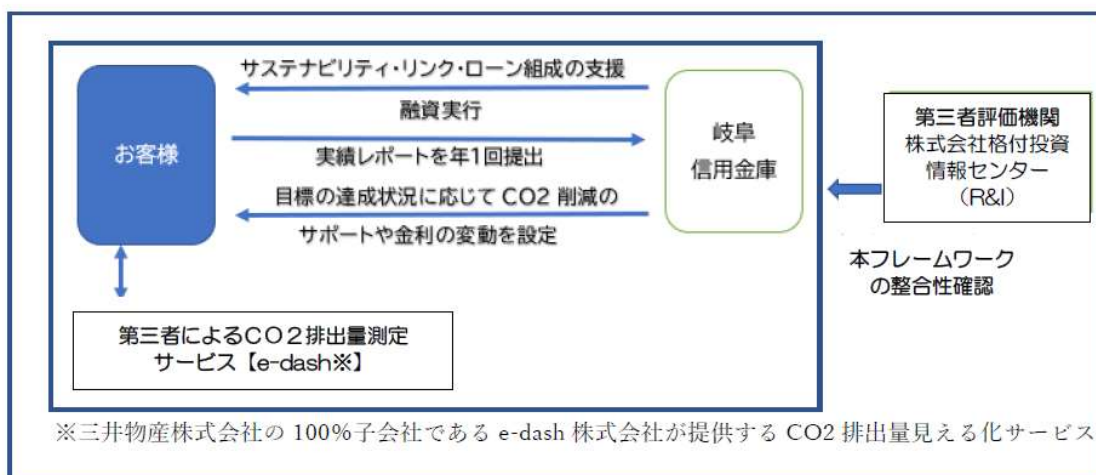
岐阜信用金庫は、このフレームワークにより CO2 排出量の削減目標と実績の評価を適切に行うことで、お客さまの脱炭素に関する取り組みの見える化を支援いたします。

なお、当金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローン融資フレームワークは、信用金庫業界では初めて、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）よりサステナビリティ・リンク・ローン原則等に整合しているとの確認を取得しております。

### ※2 サステナビリティ・リンク・ローン原則

サステナビリティ・リンク・ローンは、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促し、支援することを目指すものとして、世界的な金融機関の代表で構成される作業部会によって策定された原則。

#### □スキーム図



2024年9月30日

## 常盤工業株式会社

### ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローンの取り組みについて

岐阜信用金庫  
ソリューション営業部

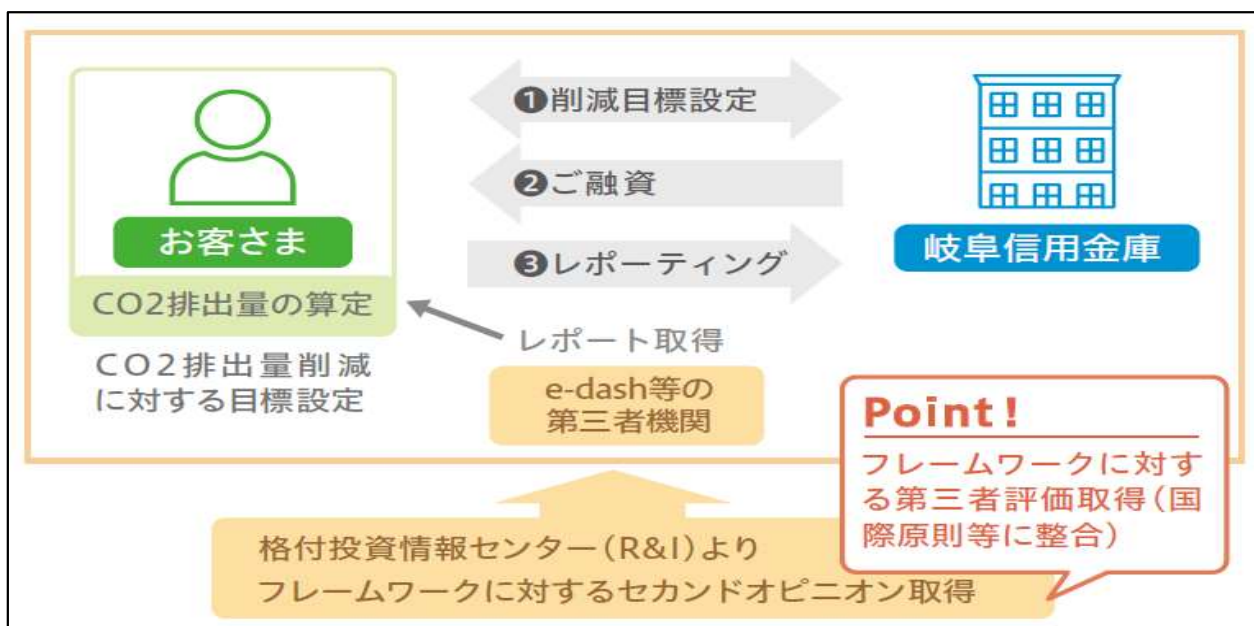
岐阜信用金庫は、2023年3月7日、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、CO2排出量（総量又は原単位ベース）の削減率をKPIとして策定した融資フレームワーク「ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローン（以下、ぎふしん SLL）」が、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022年版」に対して整合的であるとの評価を取得しています。

《ぎふしん SLL フレームワークに対する R&I の評価について》

[https://www.r-i.co.jp/news\\_release\\_suf/2023/03/news\\_release\\_suf\\_20230307\\_jpn\\_1.pdf](https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/03/news_release_suf_20230307_jpn_1.pdf)

**岐阜信用金庫は、ぎふしん SLL の融資フレームワークにて、CO2 排出量の削減を推進する常盤工業株式会社の資金調達を支援いたしました。**

【岐阜信用金庫の実施体制】



## 1. 借入人の概要

### (1) 事業概要

【本社】



・HP : <https://www.tokiwakk.co.jp>

・常盤工業株式会社（以下、当社）は、岐阜県各務原市に本社を構え、1948年（昭和23年）の創業以来、木工機械メーカーとして各種汎用機・専用機を製作し、日本の住宅産業分野に幅広く溶け込み、製品づくりに取り組んできた。現在は木工機以外の半導体・自動車・環境関連設備等、異業種分野で長年蓄積された「モノづくり」の経験と技術と実績で、信頼と安心の得られる各種産業機械の製作会社として、顧客に満足を与えられる製品とサービスの提供を実現している。

・当社の経営理念は社会への貢献と社員・家族の豊かな生活の実現、環境負荷低減を掲げている。

モノづくりによる企業活動を通じて社会に貢献することを目指します  
社員および家族の豊かな生活、会社の更なる繁栄を目指します。  
生活活動による環境負荷を軽減し、自然に優しい会社を目指します。



・当社は、70年間一貫して生産機械製造を行ってきた。多様な設備の取扱い経験により生産技術、予備保全、加工技術の蓄積が強みであり、技術力を背景に量産機のみならず特殊専用機や単品生産も可能としている。

## (2) 業務内容

### <設計部門>



木工機械設計の長年実績をもとにキャリアのある設計者が自社製品の開発設計から他社企業様との共同設計まで幅広い機械設計に携わっている。豊富な経験とアイデアと細やかな心遣いでお客さまにご満足いただける機械設計を心がけている。

### <加工部門>



立形・横形・門形のマシニングセンタをはじめ多数の工作機械を取り揃え、多様な加工を可能としている。熟練の機械オペレーターによる正確で迅速な加工作業を行っている。また納期のご相談や特殊な使用にも柔軟に対応することで高精度な「モノづくり」をお客さまにお届けしている。

### <組立部門>



長年の組立実績を持った熟練工がお客さまの機械を大切に組上げている。単品生産から大量生産まで、柔軟に対応できる確かな技術と信頼の実績が当社の「モノづくり」を支えている。

## 【主要製品】

### <木工機械分野>

#### 製品一覧

四面鉋盤



直角二面鉋盤



自動一面鉋盤



縦軸付定盤固定式一面鉋盤





<産業機械分野>

・産業機械分野ではお客さまのご要望に沿って各種産業機械の開発、設計から加工、組立までの一貫した対応を可能としている。近年では自動車関連、環境保全分野における産業機械の受注生産、OEM 生産を手掛け、経験豊富な開発部門、多数の社内機械設備、熟練作業工の技術でお客さまにご満足いただける産業機械を短納期・高品質で提供している。

<その他分野>

・当社は長年蓄積した加工技術を活かして、タイヤメーカー生産設備（成形機・搬送設備）、バネメーカー生産設備（成形機・検査装置）、特殊ゴム関連設備（切断機・搬送機）、合板関連設備（段積装置、建材加工機、座掘加工機）など様々な用途向け機械を製造している。今後、成長が期待できる用途及び環境に優しい設備の製造に取り組み、環境負荷低減など社会貢献していく。

【生産設備】

分類	メーカー・機種	台数
門形マシニングセンタ	・オークマ製 M C V - B 2000×4800 五面加工機	1
	・オークマ製 M C V - A 1000×2800	1
立形マシニングセンタ	・オークマ製 M B - 80 V 2000×4800	1
	・オークマ製 M C - 6 V A 1000×2800	2
横形マシニングセンタ	・オークマ製 M A - 600 H II 630×630 10 パレット	1
	・三井精機製 H U 80 A 800×800 6 パレット	1
複合加工機	・オークマ製 MULTUS B400 II	1
コンパクトマシニングセンタ	・ブラザー製 SPEEDIO S700×1	1
	・ブラザー製 SPEEDIO W1000×d 1	1
NC 旋盤	・オークマ製 LB-15 400×250	2
三次元測定機	・東京精密製 SVA1000A 850×1000×600	1
プレーナー/研削盤/横中ぐり盤/立・横フライス盤/旋盤/ラジアルボール盤/他		

## (2) サステナビリティ

当社は経営理念のもと、全社一丸となり持続可能な社会の実現に向けた以下の取り組みを強化している。

### <新規分野への取り組み>

- ・当社は産業機械の設計から組立までの対応できる総合力を生かし、幅広いお客さまへのニーズにお応えしている。近年はサプライチェーン全体の環境負荷低減を実現する為、産業機械の機能向上へ向けた技術開発に加え、「省エネ」「安全性向上」の環境、安全の視点から改善を加えた製品の製造を実現している。

### <脱炭素・省エネルギーへの取り組み>

- ・当社は「本社工場の LED 化」、「電動フォークリフトの導入」、「省エネ設備の導入」など脱炭素、省エネルギーに資する様々な設備投資を行っている。
- ・運用改善として「デマンドコントローラーの有効活用」「省エネ最適化診断等の実施」を計画し、従業員への省エネ化の意識付けを促し、使用電力の削減を図っている。
- ・製品製造の過程においても、可能な限り廃棄物を発生させないように製造工程の継続的な改善活動を実施している。加えて、発生した鉄スクラップ等の廃棄物についても、適切にリサイクルを行っている。

### <従業員のスキルアップ支援>

- ・当社は多種多様な生産設備を保有していることから、設備を取り扱うための資格取得に向けた勉強会や OJT を実施することで従業員のスキルアップ意識の向上につなげている。
- ・クレーン運転や玉掛業務など社内推奨資格の取得支援、資格手当の支給を通じて、従業員のモチベーション向上につなげている。
- ・部門別の定期的な改善ミーティングや技術開発に向けたミーティングを実施することで技術革新への挑戦意識の醸成を実現している。

### <社会貢献活動>

- ・地域の清掃活動や地域イベントへの参加、防災・防犯活動への協力等により事業活動を超えて地域への貢献活動を実施している。

## 2. KPI の選定

### (1) KPI の概要

- ・KPI は当社における売上高単位の CO2 排出量（原単位ベース）の削減率である。

## 3. SPT の設定

### (1) SPT の概要

- ・SPT は 2023 年 3 月期との対比で、2034 年 3 月期に CO2 排出量を 27.5%削減する。
- ・CO2 排出量の判定は、決算期ごととし、初回判定は 2026 年 3 月期とする。なお、基準年は 2023 年 3 月期とする。
- ・当社の CO2 排出量の 75%以上が本社工場で使用する電気・ガソリンであり、本 SLL では本社工場で使用する電気・ガソリンによる CO2 排出量を SPT の基準とする。

SPT				
決算期	2026/3	2027/3	2028/3	2029/3
2023 年 3 月期比削減率 (%)	▲7.5%	▲10.0%	▲12.5%	▲15.0%

SPT				
決算期	2030/3	2031/3	2032/3	2033/3
2023 年 3 月期比削減率 (%)	▲17.5%	▲20.0%	▲22.5%	▲25.0%

SPT	
決算期	2034/3
2023 年 3 月期比削減率 (%)	▲27.5%

### (2) SPT の野心性

#### ①SPT の水準感

- ・当社は製造業である各種産業から受注を確保しており、各産業の部品切削加工を可能とする産業機械や、半導体機器の製造工程で使用される産業機械の製造を担うことでサプライチェーンの一環を担っている。サプライチェーンを担う企業として脱炭素化への取り組みを強化しており、SBT 認定における Scope3 に求められる水準を一つの基準として設定している。
- ・SBT では、温室効果ガスの総排出量における削減目標を定めるが、本 SLL では脱炭素化への第一歩として原単位での目標を設定し、2023 年 3 月期比で 2024 年 3 月期以降 2034 年 3 月期まで、2.5%/年の CO2 排出量削減を SPT として設定した。



## ②SPT の達成手段

- ・SPT 達成の手段は、投資改善として「省エネ設備導入」、運用改善として「デマンドコントローラーの有効活用」「省エネ最適化診断等の実施」を計画している。
- ・「省エネ設備導入」に関しては、当社の CO2 排出量の根源は電気の使用であり、設備導入の際には省エネ性能を考慮した設備投資計画を策定していく。
- ・「デマンドコントローラーの有効活用」に関しては、既に工場にデマンドコントローラーが設定されており、使用電力の見える化は図られているが、設置にとどまっていることから使用方法を見直し、従業員への省エネ化の意識付けを促し、使用電力の削減を図る。
- ・「省エネ最適化診断等の実施」に関しては、一般財団法人省エネルギーセンターの省エネ最適化診断等を活用し、現状分析を実施した上で省エネの推進を検討・実行する。

## ③SPT の野心性

- ・2023 年 3 月期を基準として、2024 年 3 月期から 2034 年 3 月期まで、毎年 2.5%の CO2 排出量削減を目標としている。年 2.5%の削減目標は、SBT 認定のスコープ 3 に求められる水準であり十分に野心的といえる。

## (3) SPT の妥当性

- ・岐阜信用金庫は当社との対話や提出資料に基づき、SPT を設定した。設定した SPT はぎふしん SLL の想定する CO2 排出量削減率の基準を満たすものである。

## 4. ローンの特性

- ・優遇金利を前提とすることで CO2 排出量削減を動機付けている。
- ・当初から優遇金利を適用しているため、SPT 達成時に追加で金利引き下げは行わない。
- ・単期で SPT が未達成となったとき、目標を達成するための事業計画の作成を求める。
- ・2 期連続で SPT が未達成となったとき、融資金利を 0.1%引き上げる。
- ・以後、SPT 未達成が続く限り、融資金利は引き上げられたままとなる。
- ・上記のようなローン設計により、貸出条件と当社の SPT に対するパフォーマンスが連動しており、SPT の目標達成のインセンティブとなっている。

## 5. レポートニング

- ・当社は岐阜信用金庫に対し毎年 1 回、SPT の達成状況について報告する。

## 6. 検証

- ・KPI の実績値に関して、当社は第三者機関から検証を受けたレポートニング資料等を岐阜信用金庫に報告する。
- ・岐阜信用金庫はレポートニング資料等の内容から SPT 達成の判定について評価する。

以上